



保護者の方と一緒に



おもちつき

年末にするお餅つきは鏡餅を作るためと、お雑煮に入れる丸餅を作るための両方の意味があります。

「今年一年が幸せでありますように」と新年の歳神様をお迎えしてお祈りするために鏡餅を作ります。歳神様が正月の間に落ち着く場所が鏡餅なのだそうです。丸餅には神様からの魂が宿り、生命力が与えられると言い伝えられています。昔からおめでたいときにはお餅つきをして、神様からの元気をいただいていたんですね。

杵とうすで「よいしょ～よいしょ～」とおじいちゃんおばあちゃんと一緒にお餅つきをしましょう。

後日プリントを配布します。たくさんの方のご参加お待ちしております。



冬至

一年で一番昼が短く、夜が長い日が冬至です。冬至の日にカボチャを食べたり、ゆず湯に入ったりすると、風邪をひきにくくなると言われています。寒くなるこれからの時季、体を温めて風邪に負けない強い体にしましょう。



先日はみらいフェスタへの参加、ありがとうございました。幼児クラスは昆虫ワールド、乳児クラスは親子作品や、日頃子どもたちがあそびの中で作ったものを展示させて頂きました。どれも子どもたちが興味関心を持って取り組んだものばかりで、当日も展示会場でたっぷり遊んで楽しんでいましたね。幼児の縦割り活動では小さい子を思いやる優しい気持ちや、大きい子に対するあこがれの気持ちをとても感じました。「ここが難しい」と素直に言える姿、「手伝ってあげようか」と、さりげなく手伝ってくれる姿、あそびの中で、育まれるこの関わりは、これから大きくなって自然にできる人になっていくのではないかと思います。また、虫に関する興味関心を、「調べたい、作ってみたい、他の人にも教えてあげたい」、という子どもの主体的な思いが実現できたみらいフェスタでした。この活動の中からも、広島県が推進している5つの力(感じる、気づく力・動く力・考える力・やりぬく力・人と関わる力)が育っていると思います。

今回はたくさんの保護者の方がバザーのお手伝いを引き受けて下さり、本当に助かりました。「クラスのお母さんとお話しできて楽しかったです」と言われる方、短い時間しかできない方の代わりに、2時間もぶっ続けでお手伝いして下さったお母さんもおられました。喜楽会のお父さんお母さんにもお世話になりました。OBの保護者は、スリッパ飛ばしゲームを企画し、子どもたちを楽しませてくれました。みらいソフトボールチームのお父さんや卒園児も駆けつけ、炭火焼き鳥を焼いて下さり、最後の片付けまで手伝って下さいました。たくさんの方々に支えられ、皆さんのおかげで無事、楽しく、盛大にみらいフェスタを終えることが出来たことに感謝の気持ちでいっぱいです。本当にありがとうございました。

反面、みらいフェスタ後に大変なことがありました。夕方、お迎えの保護者や子どもに紛れて、2歳児の子どもが門から出てしまうという、あってはならない事が起こってしまったのです。そのことに気づき、駐車場から車を走らせ始めた保護者の方が車を止め、抱っこして保護して下さり、大きな事故には繋がりませんでした。抱っこして保育園に戻ろうとしている姿を見て、「私今からお迎えに行きますから、かわりますよ。」

と、園の中の職員の所まで連れて来て下さった別の保護者。「私その瞬間をちょうど見ていたんです。」と、わざわざ引き返してくれ、状況を話して下さったまた別の保護者もおられました。次の日、お休みのお電話をしてきた、その保護者に「昨日はわざわざお話しするために帰って来て下さりありがとうございました。」とお礼を言うと「保護者もみんな子どもたちを守っていかないとはいけませんからあたりまえのことですよ。」と言って下さいました。本当に嬉しかったです。保護者間の連携も素晴らしいと感じ、保護者と保育士が同じ気持ちで、保育園の子ども一人ひとりのことを大切に思う気持ちを嬉しく思いました。

夕方、お迎えの多い時間帯、子どもが園庭から部屋に入る時間帯には、駐車場、門の近くに職員が立つことにしています。先日、私が駐車場の入口に立っていた時、妹をお迎えに来た、卒園児のお姉ちゃんが、温かいペットボトルのお茶を私に持って来て、「先生のために、お母さんと買って来たんよ。はい、どうぞ。」と渡してくれたのです。とっても寒かったので、温かいペットボトルを手に持つだけで、心に染み入るくらい温かく嬉しかったです。そのお母さんにお礼を言うと、「いつもお世話になっているんですから。」と言って下さり、本当に心の中まで温かくなりました。保護者の方々に助けていただいている保育園です。かわいい子どもたちの命を守り、楽しい保育に向けてがんばっていかないといけない！と改めて思っています。

先日のお手紙にも書きましたが、門の開閉には十分注意してください。そして、駐車場での立ち話は控え、矢印のある駐車場は逆走することのないよう、道路への出入り口も徐行運転をお願いします。

年末のあわただしい12月に入ります。子どもたちはお餅つき、クリスマス会と楽しい行事もたくさんあり、わくわくしています。お部屋でも、様々なあそびが広がり、集中して遊べる時間が伸びているように思います。このあそびで何が育っているか、何を感じているのかなど、ドキュメンテーションを通して子どもの育ちを伝えていきます。掲示の方をご覧いただき、園と家庭と一緒に子育てを共有できたらと思っています。今後ともご協力のほどお願いします。

くまの・みらい保育園 園長

お手伝いをさせよう

子どもたちは、お手伝いが大好きです。「ありがとう」「助かったよ」という言葉を聞くと、自分が認められたと思うのでしょうか。二度手間になるとおもわれるかもしれませんが、その子にできるお手伝いを見つけ、役に立つ喜びをしっかりと味あわせてあげてください。保育園でも、子どもたちと一緒に年末の大掃除をします。



ふでの町くまの町で生まれた

やさしくだものかるた

先日、熊野町にお住いの大津さんがご夫婦で作られたカルタを4セット、保育園で使ってくださいと、プレゼントして下さいました。身近にある、野菜や果物のカルタに、子どもたちはその日のうちに夢中になりました。字が読めない子も、絵を見てとれるし、保育園の畑でも育てているお野菜の札もたくさんあるので、子どもたちは興味津々であそんでいます。

素敵な絵のカルタをいただいたことに、感謝の気持ちでいっぱいです。大切に使用させていただきます。

大津陽/絵 大津尚子/文

